平成 28 年 7 月 12 日

各　　位

会 社 名　株式会社高見沢サイバネティックス
代表者名　代表取締役社長　髙見澤　和夫
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：６４２４）

来訪者管理「無人受付システム」開発のお知らせ

株式会社高見沢サイバネティックス(本社:東京都中野区中央、代表取締役社長:髙見澤和夫)は、セキュリティゲートを利用したオフィスビル等における来訪者管理として、受付窓口を介さず受付発行機により“入館証”を発行し、セキュリティゲートを通行しての入館、並びに退館時の“入館証”の回収まで、来訪者管理を合理化する『無人受付システム』を開発いたしました。

セキュリティゲート設置のオフィスビルで“入館証”として多く使われているＩＣカードを定型化したカードケースに内蔵し、館内にて“入館許可者”であることを表示するとともに、その発行から回収までを共通のスタッカーを用いて運用するリサイクル型のシステムになります。

なお､7/13～7/15 に開催される｢第 11 回オフィスセキュリティＥＸＰＯ｣(東京ビッグサイト)に出展いたします。

記

１．背景

従来の来訪者管理としては、カード発行機にて来訪者用のＩＣカードを発行し、クリップ付きカードホルダーに入れて胸に付け入館し、退館時にＢＯＸや受付に返却するものや、セキュリティゲートで回収する仕組みのシステムがあります。この際に係員はゲート内の回収ボックス内に溜まったカードホルダーからＩＣカードを取り出し、カード発行機に 1 枚 1 枚装填する必要がありました。

２.『無人受付システム』の特徴

上記の手間を省く為に、本『無人受付システム』では、ＩＣカードを携帯性に優れたプレート状のカードケース（『ゲストパス』）に内蔵し、定型化したことで、来訪者の退館時には回収機内部のスタッカーに自動整列格納され、係員は受付発行機にそのスタッカーをそのまま装填するだけで、補充作業を終えることが出来ます。

また、お客様で現在使用している IC カードをそのまま利用出来るため、構築済の管理システムとの連動が可能です。

３．機能概要

１）『ゲストパス』の補充／回収が、スタッカーの入れ替えだけで運用可能
２）スタッカーは最大 200 枚の『ゲストパス』を収納可能
　（受付発行機ではスタッカーを 2 基装填可能）
３）回収機内スタッカーの『ゲストパス』満杯予告・満杯検知機能あり
４）回収機は接点出力にてセキュリティゲートとの連動運用が可能
５）受付発行機における『ゲストパス』発行時の取り忘れ防止機能装備

6）来訪アポイントメントから『ゲストパス』発行、入館、退館（回収）の一連の来訪者行動データを管理可能

6）受付発行機での来訪予約～『ゲストパス』発行の運用アプリは受注設計可能
（導入済み管理システムとの連動）

7）『ゲストパス』は従来使用の IC カードをそのままセットでき、入館中は胸ポケットに差すことで“入館許可者”であることを表示

４．『無人受付システム』の構成概要

（運用イメージ）※事前登録式

	【来訪者】	【社員】
アポ	（ 日程調整 ）①来訪者予約登録	
	②予約メール受信 ←――― メール発信	
	・パスワード、QR コード	
入館	③受付発行機）入館処理	
	（パスワード入力）	
	（QR コードスキャン）	
	↓	
	＜入館パス発行＞ ――→	④来訪通知（PC 画面）
		・来訪者確認、PC 登録処理
	↓	
	⑤入館	
	・セキュリティゲート通過	
	（ 面会 ）	
退館	⑥回収機へ入館パス挿入	
	・セキュリティゲート通過 ――→	⑦退館メール受信



５．構成機器仕様概要

＊受付発行機

・外形寸法：　540mm×600mm×1,500mm（幅×奥行×高さ）

・タッチパネル式操作部

・スタッカ 2 基搭載（400 枚）

＊回収機

・外形寸法　：　150mm×550mm×900mm（幅×奥行×高さ）

・受付読み取り／接点出力（セキュリティゲート連動）

・スタッカ 1 基搭載（200 枚）

＊スタッカー

・外形寸法　：　110mm×220mm×650mm（幅×奥行×高さ）

＊ゲストパス

・外形寸法　：　60mm×180mm×３mm（幅×長さ×厚さ）

６．システムの販売価格

・オープン価格

７．システムの提供時期

・平成２８年１２月より提供予定

８．システムの販売計画

・３年で１００システムを販売予定

９.業績に与える影響について

・本件による、平成 28 年 3 月期の業績予想に修正を要する変更はありません。

以　上

☆製品お問合せ先:　社会・産業システム本部　特機事業部
セキュリティシステム部
電　話　０３－３２２７－９２５５
☆報道関係お問合せ先:　管理本部　統括室　田中
電　話　０３－３２２７－３３６１